

つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



ランRun!の春が来た~!!



1日で立っている時間と座る時間に分けて仕事しています~!!



ぜひ皆さんもスタンディングワーク導入してみませんか?? オススメですよ~

いつもよりだいぶ早い桜の開花の知らせが、ワクワク感と焦り、両方連れてきてくれました。山積みの「志事」を前に、チャーンズ!と叫んで、ひるむことなく前進あるのみ! 感動・創庫の芦川永光です。

新しい景色が見えてきました

写真をご覧ください。この机、高さが調整可能なので、立った状態で肘の高さにすることが出来ます。これによって、長時間デスクワークをした時特有の腰の痛みが解消されました。さらに、机の上にノートパソコンの台を置くことで、視点を下げることなく、視線の高さでノートパソコンをパチパチ。この文章を叩いているキーボードも、身体に負担なくパチパチなんです。

効果観面! 立ち仕事!

もちろん導入してすぐは、立ちっぱなしですから当然、足が疲れました。主に上半身を姿勢よく保つので、その分、腹筋も使います。でも、一週間ほど経って、慣れてくると、立ったり座ったりの手間もないし、じっとしないで少しずつ動きながら、それでいて良い姿勢が保てているので、作業がとつてもはかどるんです。どうも、座っているよりも立っていた方がアイデアが出やすいみたいです。なので、信じられないんじゃないかなあ...って思いつつ、本当のことなので言っちゃいますけど、お腹がかなり凹みました。しかも、しかも、お通じが良くなりました。これらの効果効果、2人で経験しているので、多分スタンディングデスク効果で間違いないです。

外から見るとさしずめDJブースのような、おおよそ仕事をしているように見えずに、身体に良いことも始めちゃったこの春。ランニングに必要な足の筋肉もちゃっかりつけて、何かにつけて、早く進んでいけそうです。

株式会社 感動・創庫

kando-soko

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103

TEL: 0463-79-9777

http://kando-soko.com

発行編集責任者: 芦川永光

感動創庫

料金後納
郵便

ゆうメール

心に響く感動の格言

時を待つ心は、

春を待つ桜の姿といえよう。

静かに春を待つ桜は、

一瞬の休みもなく

力をたくわえている。

たくわえられた力がなければ、
時が来ても

成就しないであろう。

松下幸之助

words by 松下 幸之助

一生懸命書いたら、ずいぶんときれいに書けました。三菱のペン、「毛筆タッチ」のおかげです。

春なので、冬の間、チカラを蓄えてこられたみなさまへ、春を感じられる格言をお届けしました。

第一四半期を思い通りに乗り切った方も、やや不本意に過ぎてしまった方も、春を待ち、じっくり取り組んでこられたことと思います。

さあ、改めてここからです。身体もココロも暖かく盛り上がってくる春の季節に、チカラを振り絞って頑張っていきましょう！



編集後記

先日、船橋ららぽーとで、

じんまりと行われていた「懐かしのミニ四駆展示会」を見てきました。僕ら世代の男の子なら、かなりの人がハマっていたと思います。ラジコンの小型版として登場したミニ四駆の初期は、名前に〇〇Jr.とついているものが主流でしたけど、ブームが始まってからはミニ四駆自体が市民権を得て、オリジナルで様々な形、様々なシャーシ(エンジン・フレーム)のもの

懐かしのミニ四駆

が登場しました。

当時の僕は、平塚駅前にあるおもちゃ屋さんにあった、市内唯一の周回コースに自慢のマシンを走らせに行っていました。新しいシャーシのモデルが登場したら、朝早くおもちゃ屋さんに並んで、じゃんけん争奪戦を勝ち抜いて買えた、なんてことも、展示品を見ながら思いついていました。いつの時代だったって男の子は、車が大好きなことなんですね。

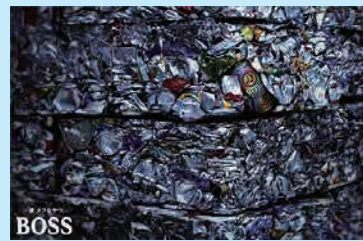
一番好きだった、
ファイヤードラゴン!!



コピーが気になる広告

今回は、暗めな画面の広告を集めてみました〜!! 笑
いつも悩むこのコーナー、楽しみにしてくれている方がいると聞きました。ありがとうございます(*^o^*)

一番、タフなやつ (BOSS)



缶コーヒーのボスのコンセプトは、『働く男の相棒コーヒー』だそうです。プレスされても、潰れない缶、強くカッコイイ男の人が連想されるBOSSにぴったりですね。

最強の布陣。(餃子の王将)

金が炒飯で、銀が唐揚、歩は、餃子。なんとなく納得できちゃいます。色なのか? 売れ筋なのか? イメージなのか? 確かに、最強の布陣です。



刑事さん、俺がやりました。(ハウスバーモンドカレー)



「おふくろの味、代表、ハウスバーモンドカレー」と下に小さく書かれています。美味しくて懐かしいカレーを食べ終えたら、誰もが正直になってしまう味ということでしょう。ずっと変わらず長く愛されているメーカーこそできる広告ですね。